

# HARLEM

June 2001 06

## SPIT'EM OUT! "It's absolutely RAW"

-This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene...-

CONTENTS OF JUNE 2001

<b>SPECIAL INTERVIEW "DABO"</b> page 01	<b>EVENTS SCHEDULE</b> - June to July 2001 page 02	<b>RECOMMENDED EVENTS</b> - Event Information page 03	<b>EVENT REPORT</b> - 04.24 Lucky Strike Presents Red Zone Special - 04.26 Top Smoker 3rd Anniversary page 04	<b>ROCK THE CITY</b> - Let The Music Play Edited by Yas 5 (p.2.6) page 05	<b>EVENT REPORT</b> - 04.29 HARLEM 4th Anniversary "Show Case" - 04.30 HARLEM 4th Anniversary "DJ Play" page 06
<b>EVENT REPORT</b> - 04.30 HARLEM 4th Anniversary "DJ Play" page 07	<b>EVENT REPORT</b> - 05.01 Red Zone Special Special Guest DJ Lazy-k - 05.02 For Rhythm - 05.03 Platinum Jam -Jugglin Extravaganza- page 08	<b>EVENT REPORT</b> - 05.05 No Doubt GW Special Special Guest DJ Mr. Len - 05.11 Daddy's House Special Special Guest Jaheim - 05.18 Daddy's House Special Special Guest DJ Red Alert page 09	<b>DISCS FILE</b> - Selected by HomeBass Records <b>MINAMIDAI TSU-SHIN</b> - Minamidai page 10	<b>SYOGYO-MUJO-NO-HIBIKI-ARI</b> - Maki the Magic <b>MO' INFO PRESENT</b> page 11	<b>LOOKIN' FOR DA "REAL SH#%T!!"</b> page 12

### Special Interview DABO

NITRO MICROPHONE UNDERGROUNDのメンバーとして全国ツアーを大成功に納め、DEF JAM JAPANのファーストアーティストとして衝撃のソロデビューも記憶に新しい“旬な男”DABO。6月13日には同じくDEF JAM JAPANより個人名義のデビューアルバム「PLATINUM TONGUE」がリリースされ、6月16日にはNO DOUBTでアルバムリリース記念イベントも開催される。今後の飛躍必至のJAPANESE RAPPERの担い手“DABO”の巻頭インタビュー。アルバム、イベント共々要チェック!! アルバム、マジで激ヤバです。

●ラップを始めたきっかけは？  
15、6才という多感な時期にダンス甲子園やDADAとかのダンスブームにのって、「MC HAMMERって凄いな〜、BOBBY BROWNってカッコイいな〜」という感じでハマって、HIP HOPを聴くようになりました。16、7才頃にダンスかDJか…って思った時、ダンスは自分が人前でステップを踏むのは違うんじゃないかと思って16才なりにクールに辞退させていただきました。DJは機材買うのにお金かかるし、15、6才で10万円は大金じゃないですか。且つそれから毎月レコード買わなきゃいけないでしょ。無理ですみたいな。それで「ラップしようかな、ラッパーかっこいいな」とそういう感じですね。

●その頃聴いていた曲は？  
PUBLIC ENEMYは最近中古屋で買ってまた聴いてます。当時はMC HAMMERから入って、いろいろ聴きました。最初はどれがコアで、どれが水っぽいのかなんてわからないから、手当たり次第“RAP”って書いてあったら何でも聴いて、徐々に「これはそんなにカッコよくないな、これはカッコイいな」と。

●初ライブはいつ頃ですか？  
ラップ初めて2年くらいかな。15、6才の頃はHIP HOP好きな友達がいなくて、最初はリリックだけ書いて、部屋の中で人にも聴かせず鏡の前でラップしてました。17、8才くらいになって、入袋で先輩が月1でやっていたイベントがあって2回、3回と行くようになって。そのイベントには英語が喋れるMCが常に入っていて、その人が英語のリリックでラップする時間とかもあって、そういうフリースタイル的な時に「おまえ来月やってみよう」って感じで。

●NITRO MICROPHONE UNDERGROUNDのメンバーとの出会いは？  
KEI BOMBとオレはグループではなかったけどずっと二人でラップしてました。かなりちょっと“鼻つまみ者二人組”みたいな。人のライブにやっ来て、マイク取っちゃ“道場やぶり二人組”で都内を練り歩いてたんだけど、そのうちにカオスでHAZIMEがHASEBEと毎週金曜にイベントをやることになって、毎回当たり前のようにフリースタイルしてました。その時の客の中にSUIKENがいて。カオスは小箱だし、毎週毎週そんなに客が入るわけ

じゃなかったから、来てる客と話すことも多くて、SUIKENに「お〜おまえラップできるんだ、やってみなよ」ってKEI BOMBが話し掛けて。それがきっかけでMCバトルをすることになって、コテンパンにSUIKENがやられて、それから毎週来るようになって、つるむようになって…。MACKA-CHIN、GORE-TEX、S-WORDとか残りのメンツは雷のやってくるイベントとかで遊んでたり、たまたま原宿でHAZIMEが働いてたすぐ裏で、MACKA-CHINが働いていたり。そんな感じで同世代ということもあり仲良くなって、お互いのやってくるイベントに顔を出し合うようになって、一緒にイベントやるようになったという感じです。

●DABOにとってNITROとは？  
PLAY ROOMという感じです。みんなで遊ぶ所。ソロとは違って、本当にみんなで大騒ぎするという、そういうノリですね。ただ、ソロでやる時と違うという意識はしてる。メンバーが8人いるからやっぱり8つの考えがあるわけで、譲ったり譲られたり、たまにゴリ押ししてみたり。全部が全部オレがコントロールしてるわけじゃないし、ソロは全部オレがコントロールしてるつもりだし。

●NITROの全国ツアーはどうでしたか？  
20カ所やったんだけど、大人気だった。なんかすごい盛り上がったけど、8人いるからさ、オレだけをみんな見てるわけじゃないから。前にHARLEMで[SUPADONDADA]のリリースパーティを土曜日にやった時、オレすごい感動したの。すごい盛り上がる〜、びっくりした〜みたいな。パーとフロアの境目の人まで手あげて、ああいう時は「みんながオレを見ている、みんながオレを見て盛り上がる」って。だからソロの方が気持ちいい。「おまえら盛り上がるのは、GORE-TEX見てんじゃね〜の？おまえBIGZAM見てんじゃね〜の？」とかあるし、逆にあんまり緊張はしないけどね。

●DEF JAM JAPAN第一弾アーティストとして決まった時の率直な感想は？  
話聞いた時は「へえ、DEF JAMでできるんだ」って。でも、どういふふう展開して行きたいのか分からなかったから、いろいろ考えすぎちゃって。まあそれも2、3日でおさまり、まわりの人は“DEF JAM”というレーベルに夢を持っているから大騒ぎした



けど、そういうウザイとか思った。それはまあ期待はするだろうからそういう状況にも慣れてきて。でもオレはあんまり変わらない。いつも通りにラップやるだけだから。

●6月13日にリリースされるファーストアルバム「PLATINUM TONGUE」の制作について。  
大変だった。自分でトラック作れたらいいなあとか思った(笑)。

●トラックメーカーは全部自分で選んだのですか？  
P-KINGは紹介されたというかRIKOが友達だから「METHOD MANのEVEN IFやってるやつだよ」って言われて「あ〜あの曲好きだからやってみようか」っていう感じで。あとは全部オレだね。みんな昔から知ってる人で、オレのラップの感じと、それをどう料理すればいいか分かってる人達がいなかったから、みんなバッチリでした。

●トラックの選び方は？  
「とりあえず5曲ちょうだい」とかそういう感じで、人によっては15曲持って来たり2曲だったり、1曲しか送って来なかったり色々あったけど。テーマは後付けが多くて、トラックもあって「ああこのトラックで歌いたい」というので、そこからリリックを書いている。インスピレーションですね。

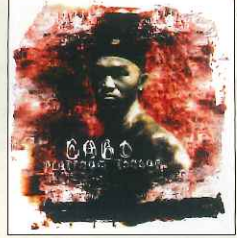
●全体的にクラブユースだという印象を受けますが…。  
DJの人が作ったトラックって感じがしますよね。余裕でHARLEMで流れるのが想像できるような感じ。HARLEMのせいですっかり新譜好きになってしまった。クラブで自分の曲かかるのが「あ〜気持ちいい」っていうのを教えてもらったの。レコード出してもクラブでかからないとイヤだと思って。いい音でパコーン！ってなるようなトラックとか好きだから基本的にクラブでかけて問題ないようなトラックで、というのはなんとなくあったね、確かに。

●今後の活動は？  
MASTERKEYのアルバムや、ZEEBRAと一緒にやる予定があるんだけど。あとはアルバムツアーですね。7、8、9月で、週末ごとに地方に行ったりという感じですかね。HARLEMでも6月16日にLIVEやります。

●プライベートで最近ハマっていることは？  
最近ハマっているのは…あっ！ブランド買い(笑)！ブランド物楽しいね。そんなバカバカ買ってないよもちろん。あとはいつも通りスニーカー買ったり、靴買ったり。

●DABOにとって、HARLEMとは？  
HARLEMは落ち着くとこ(笑)。「こんなワイワイしたところで落ち着くの？」って感じですけど。この前までツアーで北海道に行っていて「道〜、草原〜」みたいなところをまわって。東京に帰って来た時に「ビルっていいな、東京は落ち着く、渋谷はいいね〜」って思って。山とか川とか行くと落ち着くって言うし、それもいいんだけど、だんだんソワソワしてきちゃうみたいな。HARLEMは落ち着くところですよ。うまく言えなくてすみません。

●最後にお客様に一言。  
「アルバム買ってね」、かな(笑)。HARLEMでみんな楽しく遊んでる中で、アルバムが出たらオレの曲がまたかかる事があると思うので、DABO好きな人は大盛り上がりして下さい。DABO好きじゃない人も小耳にはさんでくれれば、という感じですかね。あとは混んでるフロアで靴踏むのはしょうがないけど、踏んだら謝ろうよ。謝らない人にはキレるけど、謝った人は許すから。それと、DABO大ファンの方も、オレをHARLEMで見つけてもそっと遊ばしておいて下さい。別に「ファンです」とかいいけど、サイン責めにしないで下さい(笑)。HARLEMで言われるならまだしも、この前なんてドン・キホーテで言われたんだよ(爆笑)!!



THE DEBUT ALBUM UP IN HERE!! "PLATINUM TONGUE"

2001.06.13 IN STORE  
UICJ-1002 ¥3,059(TAX IN)

2ND SINGLE "ZERO"

UICJ-5002

